

# 一般質問

6月9日、10日の本会議で、22人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

## 姉妹市町や友好市町村と更なる親善で絆を深めよ



自由民主クラブ 土屋 健一 議員

**議員** 本市は、姉妹市町として福島県矢吹町と兵庫県たつの市、友好市町村として岩手県遠野市などと交流し親睦を深めている。遠方の自治体と友好親善を図ることは、様々な観点から効果があり、大変重要だ。これまでの交流の取り組みとその効果について伺う。

**市長** スポーツや産業、芸術文化など様々な分野での取り組みがある。職員同士の交流が政策形成力や市民との協働力の向上に効果があり、更には市民の交流の広がりにつながっている。

**議員** 国の地方創生推進交付金を活用した姉妹市町元気創造交流事業として、矢吹町復興継続支援取組拡大バスツアーが予定されている。矢吹町の経済効果への期待に込められるよう参加者も意識して行くべきだ。生活環境部調整担当部長 猛烈に買物をするだけで

## 子どもたちを虐待から守り健やかに成長できる社会を



自由民主クラブ 小俣 美恵子 議員

**議員** 厚生労働省によると平成26年度に全国の児童相談所が対応した児童虐待の件数は、初めて8万件を突

破するなど深刻な状況が続いている。本市における児童虐待の発生状況を伺う。

**市長** 平成27年度に虐待として受理した件数は145件、前年度より12件の増となっている。また、虐待が起る要因も複雑化している。

**議員** 本市では子ども家庭支援センターに虐待対策コーディネーターを配置し関係機関との連携に努めてきた。配置に伴う効果を伺う。

**市長** 関係機関との連携強化の取り組みが効果を上げて、学校、保育園、保健センター、病院等からの虐待に関する相談が増えている。

**議員** 児童福祉法の改正で児童養護施設での養育より里親制度等の家庭養護を優先するという国の方向性が示された。所見を伺う。

**子ども政策部長** 多くの子どもが家庭のぬくもりを感じて育つことができるように「ほっとファミリー」の普及啓発に更に取り組みたい。

じて育つことができるように「ほっとファミリー」の普及啓発に更に取り組みたい。

**議員** 市は広報みたかに養育家庭の説明・募集等の掲載をするなど都と連携した取り組みを進めている。更なる周知に努めてほしい。

**子ども政策部長** 昨年度新たにみたかスポーツフェスティバルでチラシ等の配布と相談対応を行った。今後、更なる周知を図りたい。

**議員** 虐待死を減らすためには潜在的な死亡要因の把握が不可欠だ。公的な子どもの死因究明制度の創設の動向について所見を伺う。

**市長** 子どもの全ての死の検証という動きを国や都がどう考えていくのか、児童相談所も含めてその動向を注目したいと考えている。

**その他の質問** 児童・生徒の貧困対策について

度模索とともに、財源についての検討が急務だ。本市の考え方を伺う。

**第二副市長** まちづくり総合研究所での議論の中で、民間資金の導入や資金軽減のための権利設定など、国内外の様々な財源確保の手法について検討・整理し、見きわめたい。

**議員** Is値(耐震指数)が高いほど建物の安全度が高くなる。市庁舎は0.6で耐震基準は満たしているが、防災拠点施設に必要な0.9を満たしていない。考えを伺う。

**市長** 今後建て替える庁舎は、十分な値を満たし、災害時の機能を果たせるような堅牢な庁舎にしたい。

**議員** 現代社会においては地震や風水害などの天災はもとより、テロやサイバー攻撃など様々な危機に迅速に対応することが求められる。市内でテロが発生した場合の対応について伺う。

**議員** テロが発生した施設管理者、ライフライン施設の管理者、警察署、消防署、自衛隊等の関係機関、医療機関と三鷹市がいち早く連携・協力し、対応する。

## 観光施策の推進で更なる市民満足度向上を



自由民主クラブ 伊東 光則 議員

**議員** ラグビートールドカップやオリンピック・パラリンピックの開催時には、国内はもとより海外からも本市への来訪者が増加すると考えられる。これを好機と捉え、観光施策を充実すべきだ。所見を伺う。

**市長** 現在、みたか都市観光協会を中心に、市民、関係団体が積極的に取り組んでいる。今年度、観光に関する基本方針(仮称)を策定し、市民、関係団体、行政が一体的に観光を推進する体制を整えたい。

**議員** 観光情報は、市民、来訪者、外国人など閲覧する人を考慮して提供することが重要だ。市ホームページの見やすさや情報の充実の取り組みについて伺う。

**市長** ホームページでは数多くの観光情報を周辺地図とともに紹介している。また、4カ国語の自動翻訳機能の追加やスマートフォン

**議員** 国民の利便性の向上や行政の効率化等を目指すマイナンバー制度の、一層の普及促進に取り組む必要がある。いまだ市内で4千湖通の通知カードが配達できていないが、市民に不利

## 市庁舎建て替え議論をスピード感を持って進めよ



自由民主クラブ 加藤 浩司 議員

**議員** 先の熊本地震では、自治体の庁舎が損壊し使用不能になるケースが相次いだ。市庁舎の安全性について、スピード感を持ち、議論を進めるべきだ。平成28年度施政方針の中に三鷹まちづくり総合研究所において、市庁舎の建て替えにおける調査・研究を行うとあるが、どれくらいの期間で結論を出すのか。

**市長** 今年度末までに建築、防災、環境、情報システムの有識者や企業、職員を中心に、課題や論点をまとめる。更に来年度以降、

## テロやサイバー攻撃等に的確に対応する危機管理を



自由民主クラブ 渥美 典尚 議員

**議員** 現代社会においては地震や風水害などの天災はもとより、テロやサイバー攻撃など様々な危機に迅速に対応することが求められる。市内でテロが発生した場合の対応について伺う。

**市長** テロが発生した施設管理者、ライフライン施設の管理者、警察署、消防署、自衛隊等の関係機関、医療機関と三鷹市がいち早く連携・協力し、対応する。

**議員** 市内で起こりうるテロの想定及び対応を伺う。

## 情報セキュリティを強化しマイナンバーの普及に努めよ



自由民主クラブ 穴戸 治重 議員

**議員** 国民の利便性の向上や行政の効率化等を目指すマイナンバー制度の、一層の普及促進に取り組む必要がある。いまだ市内で4千湖通の通知カードが配達できていないが、市民に不利

**議員** 国民の利便性の向上や行政の効率化等を目指すマイナンバー制度の、一層の普及促進に取り組む必要がある。いまだ市内で4千湖通の通知カードが配達できていないが、市民に不利

**議員** 国民の利便性の向上や行政の効率化等を目指すマイナンバー制度の、一層の普及促進に取り組む必要がある。いまだ市内で4千湖通の通知カードが配達できていないが、市民に不利